



# 令和元年度長野県公民館活動アワード



令和元年度 長野県公民館活動アワード 受賞

# 上田市塩田公民館 みんなのしおだ食堂 運営委員会



## 【活動のあらまし】「みんなのしおだ食堂運営委員会」

「みんなのしおだ食堂運営委員会」は、地区更生保護婦人会メンバーの思いを公民館が受け止め、地域の諸組織をつないで生まれた子ども食堂の取組。

取組にはシニア世代から大学生や高校生まで参加、「地域で熱心に活動する大人たちの背中を見せたい」活動に高校生をつなげた教師の思いである。

台風19号災害ではいち早く避難者の食事づくりに取組んだり、地域の高齢者を対象とした「おとな食堂」など、活動の広がりもみられる。

公民館がつないだことで、地域全体に広がることができた取組みである。

【主な選定理由】「みんなのしおだ食堂運営委員会」

公民館が、子ども食堂の立ち上げをサポートし、自立した運営ができる組織を作り、現在も後押しを続けている。

各地に広がる子ども食堂ではあるが、県内では公民館で取り組まれる例は少ない。

また、最近では一人暮らし高齢者のカフェの運営などにも取り組むなど取組に広がりがみられる。

多世代コミュニティの創設という子ども食堂のねらいは、公民館の原点ととらえることができ、ぜひ県内他地域の公民館にも広がりを期待したい。

令和元年度 長野県公民館活動アワード 受賞

# 塩尻市宗賀地区公民館 どんぐりプロジェクト



## 【活動のあらまし】【どんぐりプロジェクト！！】

「どんぐりプロジェクト！！」は、地域住民の発意で、荒廃していた学有林を地域の里山として再生する取組みを、地元宗賀小学校の児童や教師とともに進めているグループ。

取組からは、公民館をはじめ各団体の垣根を超えて、地域住民の「心のふるさと」にしようとする強い意気込みを感じることができ

る。また活動を通して子どもたち自身が里山の将来を描き、それを形にする取組として継続しており、里山保全や環境学習という現代的な課題に向き合う取組でもある。

## 【主な選定理由】「どんぐりプロジェクト」

10年単位で里山づくりに取り組み、荒廃してしまった地域の里山を再生しようと、公民館をはじめ各団体の垣根を超えて、地域住民の「心のふるさと」にしようとする強い意気込みを感じるとともに、この活動の中で子どもが「してもらう」存在にとどまらず、自ら取り組むことができれば持続的な活動になっていくことが期待される。

里山の保全や環境学習という現代的な課題とつなげることで新たな価値づけを行う取組として、ぜひ県内他地域にも広がりを期待したい。

令和元年度 長野県公民館活動アワード 受賞

# 松本市第三地区公民館 第三地区まちづくり協議会





## 【活動のあらまし】「松本第三地区まちづくり協議会」

大型ショッピングモールの出店計画をきっかけに、公民館広報委員の有志が発意して、地域について学ぶ「まちづくり学習会」を連続して開催。

学習会に集ったメンバー有志が住民アンケートを行い、その結果を背景に同モールと話し合いの場を設け、多くの要望が店舗づくりに反映され、事業所側も全国的なモデル事例として認めている。

その後住民有志のグループから地域の諸組織をつなぐ公的な組織「第三地区まちづくり協議会」として発展する。

地域と商業者を公民館が結び、課題解決につなげた貴重な取組み事例。

## 【主な選定理由】「松本第三地区まちづくり協議会」

まちづくりは地道な取組みであり、高齢化や人口減少の中でいかに多くの人々を巻き込んでいくことが重要であるが、大型ショッピングモールの再開発をきっかけとして、公民館が中心となり地域課題解決のために住民自らがまちづくりに参画している。

地域との関係を大事にした店舗経営のあり方は、これからの商業施設と地域とのつながりについての新たな問題提起としてとらえることもでき、公民館活動の新たな可能性が認められる。

令和元年度 長野県公民館活動アワード 受賞

# 池田町公民館 池田つむぐプロジェクト



## 【活動概要】「池田つむぐプロジェクト」

池田つむぐプロジェクトは、公民館が主催した若者対象の講座「池田みらい塾」に集ったメンバーが中心となり結成された。

地元出身者や県内の大学に通う若者たちが中心となり、住民、役場、議会を巻き込みながら「子育て教育」「空き家対策」「移住定住」など具体的な地域課題の解決に取り組んでいる。

核となるメンバーは公民館が主催した小学生対象「ふるさとチャレンジ塾」のOBでもあり、公民館による次世代育成が花開いた取り組みでもある。

## 【主な選定理由】「池田つむぐプロジェクト」

「地域をどうするか」という目的意識を持って取組んでおり、公民館を拠点に、学生など若者主体で運営していることで将来性に期待でき、地域の課題を調査分析し、課題解決を目指している。

地域でも、公民館でも必要ととらえながらアプローチに至らない、若者の地域や社会参加を、公民館活動をきっかけにチャレンジし、地域の課題に向き合うことに広げている取組は、新しい時代の公民館活動の可能性が認められる。

令和元年度 長野県公民館活動アワード 受賞

# 飯田市東野公民館 明日の東野をつくる集い



## 【活動のあらまし】「明日の東野をつくる集い」

「明日の東野をつくる集い」は、東京大学牧野研究室と飯田市公民館の共同研究地として選ばれた東野地区で、研究成果を形にしようと公民館が呼びかけて集った有志によるグループ。

グループでの学習が地区の将来構想づくりや構想の具体化の取組にも発展している。メンバーには女性が多く、地域とのつながりが弱い子育て中の母親層や高校生の参加も実現し、これからの地域の担い手が育つ場ともなっている。

## 【主な選定理由】「明日の東野をつくる集い」

公民館を拠点とした飯田の地域のあり方を体現した活動であり、「外からの刺激」を自分たちの学習に取り込む力量は長い歴史を基盤とした成果でもある。

地域課題を考える公民館活動として誕生し、地域の将来構想づくりの中心となり、かつ、構想実現の活動や、振り返りの中核として取組む姿は、総合的な地域づくりの拠点として誕生した公民館の原点ともいえる実践として認められる。